



## トピックス

### 環境パートナーシップ協定

セブン-イレブンみどりの基金では、今年度より「環境パートナーシップ協定」を結び、継続して環境NPO団体を支援する助成制度を開始しました。この助成制度の特徴は、当基金と環境NPO団体とが「共通の理念、相互信頼」にもとづき協定を結び、当基金が各地の団体の活動を支援していくものです。協定を結ぶにあたっては、市民の環境活動にとって重要な役割を果たしている活動を行っている団体や、自然環境の保護・保全および地域社会の環境保全に対して大きく影響を及ぼすような活動団体を対象としています。この新しい助成制度は、助成金を活動だけでなく、活動拠点や専従スタッフのための費用として活用することが可能な制度であり、この制度の開始により、活動団体の運営基盤が安定・強化され、日本の環境NPO活動が活性化されることが期待されています。

### 環境パートナーシップ協定締結団体

#### NPO法人 屋久島うみがめ館（鹿児島県）

…屋久島のウミガメの生態調査や、生息環境保全活動の専従スタッフ費を支援。

#### NPO法人 アサザ基金（茨城県）

…アサザプロジェクトによる霞ヶ浦・北浦の環境改善活動推進のための事務所費・専従スタッフ費の事務局経費を支援。

#### NPO法人 緑のダム北相模（神奈川県）

…FSC（森林管理協議会）の精神に沿い、新しい森林創生事業を創出する事業費を支援。

#### メリーボピンスの会（兵庫県）

…花と緑を通じて、新しい地域社会を創立するネットワーク事業に必要な経費を支援。

#### NPO法人 ドラゴンリバー交流会（福井県）

…福井県内の水系環境保全を目的とした継続した植樹活動に必要な苗木代を支援。

#### NPO法人 NPOクリーンふくおかの会（福岡県）

…九州地区一斉清掃「ラブアース・クリーンアップ」の推進のための事務所費・スタッフ費の事務局経費を支援。

## 活動の概況

セブン-イレブンみどりの基金は、今年度もセブン-イレブン店頭におけるお客さまからの募金とセブン-イレブン本部からの拠出金・寄附金をもとに、自然環境の保護・保全活動や日本各地で環境をテーマに活動している市民ボランティア団体の支援を行いました。

おかげさまで平成15年度の収入は、セブン-イレブン店頭にお客さまより寄せられた募金2億4281万6567円と、セブン-イレブン本部からの拠出金運用益・寄附金8665万8430円、前年度繰越金等2488万6163円を合わせ、3億5436万1160円となりました。

今年度の活動は、昨年に引き続き市民ボランティア団体への活動支援を中心に行い、なかでも一般公募等による市民ボランティア団体への助成金は、272件1億85万3401円となりました。このなかには、今年度から当基金と共通の理念・相互信頼にもとづき環境パートナーシップ協定を締結し、団体の運営基盤を安定・強化する新しい助成制度による助成先6団体の978万円が含まれております。この制度に対しては各団体から高い評価と期待が寄せられています。

また、地域の清掃活動では、ボーイスカウト7万6000人が参加したカントリー大作戦で、38万本の空き缶・ペットボトルが回収されました。さらに、セブン-イレブン全国一斉清掃活動においては、4万8000人が参加し、約107トンのごみを回収しました。

このほかにも、当基金主催の環境リーダー海外研修、北海道・九州での森林マラソン、都市緑化フェアでのチャリティーコンサート、日光杉並木の保護・保全、札幌大通公園等の花壇への出展などの活動を行いました。

今後も活動内容の充実を目指し努力してまいりますので、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



NPO法人 屋久島うみがめ館（鹿児島県）  
撮影：由井 わたる  
産卵に必要な砂浜の減少などにより、日本のウミガメは絶滅の危機に瀕しています。なかでも屋久島はアカウミガメの国内における産卵全体の3割を担っています。



NPO法人 アサザ基金（茨城県）  
水草のアサザによる霞ヶ浦・北浦の豊かな生態系復元活動アサザプロジェクトは環境教育や保全生態学を組み込んだ市民主導型の協働プロジェクトとして、7万人以上の市民が参加しています。